作成年月日　2026年11月11日

# 安全データシート(SDS)

## 1. 化学品及び会社情報

| | | |
|---|---|---|
| 製造者情報 | 会　社 | ホーザン株式会社 |
| | 住　所 | 大阪市浪速区幸町1-2-12 |
| | 担当部門 | マーケティンググループ |
| | お問い合わせ窓口 | ホーザンテクニカルホットライン |
| | 電話番号 | 06(6567)3132 |
| 製品番号 | | SG-128-60 / SG-128-120 / SG-128-180 / SG-129-60 / SG-129-120 / SG-129-180 |
| 製品名 | | 研磨材 ガラスビーズ |
| 推奨用途及び使用上の制限 | | 路面標示塗料用、ブラスト用、粉砕・分散用<br>＊想定される用途以外であっても使用を制限するものではない。 |

## 2. 危険有害性の要約

| | |
|---|---|
| GHS分類 | ： 分類対象外 |
| 危険有害性情報 | ： 不燃物で火災・爆発性はない。<br>眼にはいると眼球に刺さることがある。 |

## 3. 組成及び成分情報

| | |
|---|---|
| 単一製品・混合物の区分 | ： 単一製品 |
| 化学名又は一般名 | ： ソーダ石灰ガラス |
| 成分及び含有量 | ： ソーダ石灰ガラス 100% |
| 官報公示整理番号 | ： 該当なし |
| CAS No. | ： 65997-17-3 |

## 4. 応急措置

| | |
|---|---|
| 吸入した場合 | ： 新鮮な空気のある場所に移し、気分が悪い場合は、医師の手当を受ける。 |
| 皮膚に付着した場合 | ： 払い落として水道水で良く洗う。 |
| 眼に入った場合 | ： こすらないで清浄水で洗眼する、痛みがある場合は医師の手当を受ける。 |
| 飲み込んだ場合 | ： 水道水で口をすすぎ、気分が悪い場合は医師の手当を受ける。 |
| 急性症状及び遅発性症状 | ： 知見無し |

## 5. 火災時の措置

| | |
|---|---|
| 消火剤 | ： 各種消火剤を使用できる。周辺火災状況に応じて、適切な消火剤を使用する。 |
| 使ってはならない消化剤 | ： なし |
| 特有の消火方法 | ： 製品の飛散に注意する。 |
| 消火を行う者の保護 | ： 特別な保護措置は不要だが、状況に応じた保護具(空気呼吸器、保護衣など)を着用する。 |

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

：漏洩区域は、関係者以外の立入を禁止する。漏洩区域内に立ち入る時は、
保護具（防塵マスク、保護メガネ、手袋など）を着用する。
床、路面などにこぼれた場合は滑りやすいので注意する。

環境に対する注意事項　：河川、排水溝、土壌等に排出されないようにする。

封じ込め及び浄化の方法：危険でなければ、漏出を止め、速やかに清掃回収する。

---

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い　：道路や床などにこぼれると滑り易いので、速やかに除去してください。
適切な保護具（保護手袋、防じんマスク、保護メガネ）を着用して作業を行ってください。
水分により塊が発生する場合があります。開封後は速やかに使用してください。

保管　：湿気により固まる場合があるので、容器を密封し乾燥した屋内に保管する。

---

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度　：3.0mg/$m^3$（遊離ケイ酸の含有なし）

許容濃度　：第3種粉塵 吸入性粉塵 2mg/$m^3$, 総粉塵 8mg/$m^3$

設備対策　：取扱場所は局所排気を設け、周りにこぼれないよう囲いをする。
局所排気は外部へ飛散しないように、集塵設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具　：防塵マスク（国家検定品）

手の保護具　：保護手袋

眼の保護具　：防塵保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具：長袖作業衣

---

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|---|---|
| 物理状態 | ：粒子状固体 |
| 色 | ：白色～淡緑色 |
| 臭い | ：無臭 |
| 融点・凝固点 | ：約730℃で軟化する |
| 沸点 | ：データなし |
| 可燃性 | ：なし |
| 爆発限界／可燃限界 | ：該当しない |
| 引火点 | ：該当しない |
| 自然発火点 | ：該当しない |
| 分解温度 | ：該当しない |
| pH | ：該当しない |
| 動粘性率 | ：該当しない |
| 溶解度 | ：水、有機溶剤に不溶、フッ酸や強アルカリに一部溶解 |
| n-オクタノール／水分配係数(log値) | ：該当しない |
| 蒸気圧 | ：データなし |
| 密度／相対密度 | ：約2.5（比重） |

| | |
|---|---|
| 相対ガス密度 | ： 該当しない |
| 粒子特性 | ： 1μm～4000μm |

## 10. 安定性及び反応性

| | |
|---|---|
| 安定性 | ： 通常の取り扱い条件において安定である。 |
| 危険有害反応可能性 | ： フッ酸、強アルカリに浸食される。 |
| 避けるべき条件 | ： 知見なし |
| 混触危険物質 | ： フッ酸、強アルカリ |
| 危険有害な分解生成物 | ： 知見なし |

## 11. 有害性情報

| | |
|---|---|
| 急性毒性 | ： 知見なし |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | ： 知見なし |
| 眼に対する重篤な損傷性又は刺激性 | ： 知見なし |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | ： 知見なし |
| 生殖細胞変異原性 | ： 知見なし |
| 発がん性 | ： 知見なし |
| 生殖毒性 | ： 知見なし |
| 特定標的臓器毒性、単回ばく露 | ： 知見なし |
| 特定標的臓器毒性、反復ばく露 | ： 知見なし |
| 誤えん有害性 | ： 知見なし |

## 12. 環境影響情報

| | |
|---|---|
| 生態毒性 | ： 知見なし |
| 残留性・分解性 | ： 知見なし |
| 生態蓄積性 | ： 知見なし |
| 土壌中への移動性 | ： 知見なし |
| オゾン層への有害性 | ： 知見なし |

## 13. 廃棄上の注意

| | |
|---|---|
| 残余廃棄物 | ： 一般産業廃棄物として処理できるが、飛散防止をした上で、地方自治体の基準に従い、処分する。 |
| 汚染容器及び包装 | ： 容器は清掃・洗浄して再利用するか、地方自治体の基準に従い処分すること。 |

## 14. 輸送上の注意

| | |
|---|---|
| 国内規制 | ： 規制なし |
| 国連番号 | ： 非該当 |
| 品名 | ： 非該当 |
| 国連分類 | ： 非該当 |
| 海洋汚染物質 | ： 非該当 |
| 特別の安全対策 | ： 容器の転倒、落下、破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止 を確実に行う。 |

15. 適用法令

労働安全衛生法、じん肺法、粉じん障害防止規則
：「鉱物」に該当し、作業内容によっては適用を受ける。

PRTR法　：非該当

毒劇物取締法　：非該当

製品中の含有量や使用・保管する総数などの諸条件、また法令の改正により、必ずしも適用されるものではありません。
詳しくは各法令をご確認ください。

16. その他の情報

引用文献　：粉じん障害予防規則の解説
日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告

記載内容は、現時点で入手できる資料・データ等に基づいて作成しておりますが、製品の適応性・安全性を保証するものではありません。取扱いには十分注意してください。
このデータの使用による損失や損害について一切責任を負いません。ご使用者の責任において安全対策を実施の上、取扱い願います。